

すいかずら

平成 22 年 3 月 31 日発行

編集 社寺建造物美術協議会

発行人 澤野道玄

〒604-8232 京都市中京区錦小路通
油小路東入る空也町491

(株)さきの道玄 内

TEL (075)254-3885 FAX (075)254-3886



通常総会 報告

10月17日大分県湯布
院いよとみ荘において
平成21年度通常総会が
開催されました。
次期会長選挙が執り
行われ、投票の結果小西
美術工藝社の原登氏が
平成22年度より会長に
選出されました。



この度、平成
22年度より社寺
建造物美術協議
会会長の要職を
務めさせていた
だくこととなり
ました。
澤野道玄会長
の並々ならぬご
尽力と、会員各
社の協心戮力で
当協議会は選定



原 登

保存技術保持団体の認定
を受けるという大きな一
歩を踏み出しました。今後
も更なる躍進を目指す社
寺建造物美術協議会にお
いて、技術の研鑽と継承
は、材料の確保、適正な工
事請負価格の設定などに
始まり課題は山積してお
り、これらはいずれも、漆
彩色、丹塗、金具の各部門
でご活躍されてきました

◆原新会長としての所感

「社寺建造物美術協議会
会長就任に際して」

皆様のご経験と深識を結
集して取り組まねばなら
ない難題であります。

我々の思いを業界の声
として発し、「建造物装飾」
という分野が世間で認知
され、強い根を張って伸張
していくため、また、協議
会としても研修事業を一
層充実させ発展していく
ために専心努力致します
ので、倍旧のご指導ご鞭撻
を心よりお願い申し上げます。
就任のご挨拶とさせていただきます。



「5年間を振り返って」



澤野道玄

この度、平成21年度をもちまして、社寺建造物美術協議会の会長職を退任することになりました。在任中は会員各位をはじめ、各界の皆様方にご協力ご支援賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

この5年間を振り返りますと、ようやく保存団体としての骨格が整ってきただけかと思えます。これから斯界への報恩を志されている原登新会長のもとに肉付けしていただき、血を巡らしていただけるものと確信しております。

- 平成22年度～平成26年度
新役員紹介
- ・相談役・後藤 佐雅夫
 - ・会長・理事 原 登
 - ・副会長・理事 荒木 かおり
 - ・澤野 道玄
 - ・森本 大隆
 - ・運営委員・理事 片山 富夫
 - ・監事 腰越 勉
 - ・本部事務局員 須田 知子
 - ・関西支部事務局員 山本 芳弘

展示会参加報告

ふるさと文化財の森『文化財建造物保存活用公開セミナー』

期間 平成21年11月7日・8日
場所 京都市文化財建造物保存技術研修センター



両日とも気持ちのいい秋晴れの中、公開セミナーが開催されました。一般の方々を対象に、伝統的な建造物の装飾である、丹塗、漆塗、彩色の仕事を紹介させていただきました。

限られた制作時間で本格的な工程を体験できるように、今回はシンプルな手本絵を、初心者用としての「虎」と、少々難しい墨括りやぼかしを必要とする「猫」の2種類用意しました。

ワークショップ報告

川面美術研究所

城田能豊靖

1日目のオリジナル絵馬作成のワークショップを担当しました。

使用材料…五角形絵馬型板（30枚用意）、手本、原図、型、型描刷毛、念紙、顔料、膠液、筆、面相筆、削用筆、絵皿、筆洗、ドライヤー、作業工程…1.下描きと

ロゴマーク リーフレット ホームページ が新しく完成

選定保存技術
【建造物装飾】
認定団体

社寺建造物美術協議会

JAPAN ASSOCIATION FOR
HISTORICAL ART
AND ARCHITECTURE
(CONSERVATION OF CULTURAL HERITAGE)

社美協設立以降、目標の一つであった当協議会のホームページとリーフレットの作成にあたり、会員の皆様にご意見を頂き、ロゴデザイン、マーク、内容の最終決定を総会内で行ないました。その後リーフレットを昨年11月に発行し、ホームページも1月に立ち上げることでできました。より多くの方々に社美協の活動と文化財修復についての知ってもらうためのツールとして活用していきたいと考えております。



また今回リーフレット作成、ホームページ開設を機に、社美協のロゴとマークも作成しました。当協議会の漆、彩色、丹塗、金具の4部門から成り立つという特徴をマークにしました。またロゴも伝統を重んじながら新しい時代へと継承していく当協議会の設立理念を形にしました。皆様にこのデザインを親しんでいただけるよう、今後とも意義のある活動をおこなってまいりたいと思います。

左記アドレスにて、随時研修事業などを公開します。
<http://www.shabikyō.org/>



ワークショップのようす

その技法の習得の難しさ、文化財修復には手間や時間のかかるものであるということを感じていただけたのではないかと思います。

工艺品でも、きらびやかなものほど、どうやって作っているのか案外わかり難いものだと思います。「金箔」と言う言葉は世間では十分に知られているものだが、どんな手順で使われるのか、また実際に金箔とはどんなものなのかは意外に知られていません。今回の箔押し体験ではほんの基本手順を実際に作業してもらいましたが、思わぬゴージャスな結果に驚かれています。

ワークショップ報告

さわの道玄 藤原二郎

2日目の金箔押し体験

研修事業参加者人数集計結果

法人名	年度	19	20	21	合計
(株)大谷相模模造所		2	0	0	2
(株)片山		1	2	4	7
(有)川面美術研究所		4	9	10	23
岸野美術漆工業(株)		0	0	0	0
(株)小西美術工芸社		5	5	7	17
(有)齋藤漆工芸		2	2	2	6
(株)さかい		3	1	1	5
(株)さわの道玄		8	6	10	24
財塩尻木曾地域 地場産業振興センター		7	2	2	11
(株)はせがわ美術工芸		2	2	2	6
(株)細川社寺巧藝社		0	0	0	0
邑田漆芸(株)		1	2	3	6
(株)森本鋳金具製作所		2	1	2	5
(有)横山金具工房		2	0	0	2
	延べ				114

社美協としての研修事業は、平成16年3月より芸術文化振興基金の補助を受けて計4回行なわれ、平

国庫補助事業研修会 各事業所 参加実績

成19年9月に選定保存技術「建造物装飾」認定団体として認定を受けてから今年度まで、3回の国庫補助事業を行なっていました。

10月の総会にて、これからの当協議会の研修事業をさらに有意義で活発なものにしていくためにも、会員の皆様の研修参加実績を会報上で公表していくこととなりました。

この実績をもとにして、今後とも社寺建造物美術協議会の研修事業への御理解と御協力をお願い致します。

平成21年度事業報告

社寺建造物美術協議会

【平成21年】	（●は国庫補助事業）
5月25日～6月4日	●後継者養成実技研修（於さわの道玄：大阪成蹊大学）
6月1日～6日	●丹塗技術研修会（於 京都市 武信稲荷神社）
6月29日	第一回総会（於 東京都 上野精養軒）
7月1日～11月30日	●建造物装飾国内研修（於 齋藤漆工芸）
7月1日～11月30日	●建造物装飾海外研修（於 小西美術工芸社）
7月1日～12月4日	●建造物装飾総合研修会
7月2日	第一回理事会（於 京都市 池坊学園）
7月27日～8月7日	●後継者養成実技研修（於川面美術研究所：京都伝統工芸大学）
8月18日～21日	●後継者養成実技研修（於さわの道玄：高知工業高校）
8月26日	第二回理事会（於 京都市 池坊学園）
9月7日～18日	●後継者養成実技研修（於さわの道玄：京都伝統工芸大学）
9月29日	第三回理事会
10月16日～17日	●会員研修（於 大分県、福岡県）
10月17日	第二回総会（於 大分県いよとみ社）
10月26日	次期役員の投票
11月6日	リーフレット発行
11月7日～8日	ふるさと文化財の森『文化財建造物保存活用公開セミナー』展示（於 京都市文化財保存技術研修センター）
11月16日	保存修理現場公開 展示（於 知恩院）
11月20日	京都府文化財所有者連盟連絡協議会研修会（於 西本願寺）
12月7日～19日	第四回理事会（於 京都市 希味） 次期役員決定
12月12日～13日	●後継者養成実技研修（於小西美術工芸社：ものづくり大学）
12月12日	文化財保存技術2009～文化財を支える「伝統の名匠」～ 展示（於 埼玉県大宮ソニックシティ）
12月19日	全国文化財保存技術連合会 理事会 全国文化財保存技術連合会 総会 第四回丹波漆シンポジウム 展示 澤野会長 講演
【平成22年】	
1月15日	全会員より次期役員の承認を得る
1月19日	ホームページ一般公開 開始
2月12日～13日	文化財修理技術保存連盟 理事会（於 京都市文化財保存技術研修センター）
2月16日	●彩色調査研修会（於 京都市文化財保存技術研修センター、清水寺）
3月12日	第五回理事会（於 京都市 池坊学園）
3月31日	伝統技術保存団体連絡協議会 出席 会報『すいかずら』19号、研修会報告書 発行

伝統の名匠展

期間：平成21年
12月12日、13日

場所：埼玉県
大宮ソニックシティ





全保存団体が集まるこの「伝統の名匠展」は毎年秋から冬にかけて文化庁主催で開催されています。今年は19団体の展示と、新しく認定された3団体の紹介がこなわれました。

当協議会では漆、調査に重きを置いた彩色、金具、丹塗の四部門の展示と、彩色体験、金箔押し体験のコーナーを設け、一般の方々に修復技術の一端を体験していただきました。

体験コーナーのようす

第四回 丹波漆シンポジウム

期間：平成21年12月19日

場所：京都府福知山市 夜久野ふれあいプラザ




丹波漆シンポジウムのようす 夜久野ふれあいプラザにて

らおこなわれています。

このシンポジウムでは漆・彩色についての展示を中心に、澤野会長の解説と講演も催されました。参加者の方々の中には夜久野の漆の館で勉強されておられる方が多くいらつしやり、とても熱心に話を聴いている姿が印象的でした。

平成 22 年度 社寺建造物装飾技術者研修事業計画 (国庫補助事業)

伝承者の養成

1. 建造物装飾修理用資材検討調査研修会

- ◇研修人員 5名 ◇研修期間 平成 22 年 6 月 24 日～6 月 25 日(予定)
- ◇研修内容
上級技術者を対象とし、漆や膠、地金などの建造物装飾修理に欠かせない材料について、各部門ごとに講師を招いて、その現状や問題点を検討し、改善策を立て、今後の修理に生かす。

2. 会員研修会 (対象：会員)

- ◇研修人員 12名 ◇研修期間 平成 22 年 10 月 15 日～10 月 16 日(予定)
- ◇研修内容 講義・見学 11 時間
古社寺を訪ね、伝統建造物に於ける装飾分野の研鑽を深め、日本文化への更なる広い視野を持った人材を養成する。

3. 後継者養成実技研修会 (各事業所が実施日を決定)

- ◇研修人員 10名 ◇研修期間 10 日間
- ◇研修内容 実習 70 時間
各種美術工芸教育機関と連携し、文化財建造物装飾に関心のある後継者を会員各事業所にて受け入れ、仕事の実感を体験してもらうことで、将来の後継者養成に繋げる。

技術技能の練磨

4. 固有技術向上研修会

- 丹塗技術研修会
◇研修人員 3名 ◇研修期間 平成 22 年 2 月 15 日～3 月 5 日(修了しました)
◇研修内容 実習 40 時間
研修対象者を初任・中級技術者とし、丹塗技術の実作業であるケレンから仕上げまでを、石清水八幡宮手水舎によって実技研修する。
- 建造物装飾総合技術研修
◇研修人員 5名 ◇研修期間 平成 22 年 11 月 15 日～11 月 20 日(予定)
◇研修内容
平成 21 年度で行った総合技術研修の社の上塗りの実技研修と箔押し技術、材料について実技研修をおこなう。
- 建造物装飾模型製作研修
◇研修人員 5名 ◇研修期間 平成 22 年 9 月 6 日～9 月 10 日(予定)
◇研修内容
伝統建造物の模型を作成し、各部門の漆・彩色・金工による装飾施工を行う。
各部門が一つの模型を作成することで、技術者の技術・技能の練磨を目指す。
また作製後の模型を展示会や公共施設等で展示することを目的に、建造物装飾の技術や文化財建造物保存への理解を広く世に伝える。

丹塗研修会



財団法人元興寺文化財研究所 山内章先生による講演

平成 21 年 6 月 1 日、6 日、京都市武信稲荷神社の本殿瑞垣を塗装しました。

こちらでは前年度、拝殿の玉垣の塗装をさせて頂いております。実技講師として(株)片山さんが研修生 4 名の指導にあたり、掻き落としから塗りまでを終えました。また最終日には財団法人元興寺文化財研究所の山内章先生より、膠についての講演と膠の違いによる絵具の塗り方の違いの実習をしました。



実習のようす



期間：平成 21 年 6 月 1 日、6 日
場所：京都市武信稲荷神社

彩色調査研修会

期間：平成 22 年 2 月 12 日、13 日
場所：京都市文化財保存技術研修センター、清水寺

今回の彩色研修会は痕跡読検討会という副題がついております。

講師の方から痕跡調査から復原にいたるまでの事例を発表していただきました。

また文化庁からは文化財調査官の武内正和氏、京都府文化財保護課から白石悦二氏、奈良県文化財保存事務所から竹口泰生氏をお招きし、講演をしていただきました。



彩色研修会のようす



現場見学では現在、有限会社川面美術研究所のもと、清水寺の子安塔で行われている調査・復原の現場を見学し、実際に作業をした痕跡を拾う作業を実習としておこないました。

文化財保護課や文化財関係団体の方々が多数来られ、今後の文化財の調査のあり方やその考え方について考察する機会となりました。

新事務局

ご挨拶

新会長の就任に伴い、この度四月から事務局を担当することになりました。

これからは関西支部を担当くださる山本芳弘さんと力を合わせて、より活発で魅力ある社美協を目指し、研修事業の充実と運営に注力いたす所存です。

何分不慣れではございますが、今在る社美協を築いてこられた会員の皆様、関係各位におかれましては、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

須田知子

社寺建造物

美術協議会

本部事務局 新住所

〒一〇八—〇〇—四

東京都港区芝四—四—五

三田KMビル三階

株式会社小西美術工芸社内事務局担当・須田知子

関西支部 住所

〒六一六—八二—四

京都市右京区

鳴滝本町六九—二

有限会社川面美術研究所内事務局担当・山本芳弘

「社寺建造物美術協議会」名簿

(五十音順)

平成22年3月

	法人名(個人名)	代表者名	住所	TEL・FAX番号
1	(株)大谷相模掾鋳造所	大谷哲秀 (大谷秀一)	〒537-0011 大阪市東成区東今里2-6-20	TEL 06-6971-6571 FAX 06-6971-6511
2	(株)片山	片山富夫	〒601-8303 京都市南区吉祥院向田東町10	TEL 075-322-1236 FAX 075-316-6333
3	(有)川面美術研究所	荒木かおり	〒616-8242 京都市右京区鳴滝本町69-2	TEL 075-464-0725 FAX 075-464-0099
4	岸野美術漆工業(株)	岸野勲	〒321-1404 栃木県日光市御幸町587-2	TEL 0288-53-3366 FAX 0288-54-0072
5	(財)塩尻木曾地域 地場産業振興センター	小口利幸	〒399-6302 長野県塩尻市木曾平沢2272-7	TEL 0264-34-3888 FAX 0264-34-2832
6	(株)小西美術工芸社	小西美奈	〒108-0014 東京都港区芝4-4-5 三田KMビル3F	TEL 03-5765-1481 FAX 03-3455-9250
7	(有)齋藤漆工芸	齋藤敏彦	〒250-0631 神奈川県足柄下郡 箱根町仙石原1285-381	TEL 0460-84-2802 FAX 0460-84-0770
8	(株)さかい	酒井清	〒520-2331 滋賀県野洲市小篠原7-1	TEL 0775-87-1178 FAX 0775-87-5355
9	(株)さわの道玄	澤野道玄	〒604-8232 京都市中京区錦小路通 油小路東入る空也町491	TEL 075-254-3885 FAX 075-254-3886
10	(株)はせがわ美術工芸	清原久視	〒822-0011 福岡県直方市 大字中泉今林885-26	TEL 0949-24-7211 FAX 0949-24-7221
11	(株)細川社寺巧藝社	細川夫美子	〒651-2242 兵庫県神戸市西区 井吹台東町1-5-13-301	TEL 078-997-7178 FAX 078-997-7179
12	邑田漆芸(株)	邑田正廣	〒607-8355 京都市山科区 西野大鳥井町118-45	TEL 075-591-4137 FAX 075-502-0638
13	(株)森本鋳金具製作所	森本大隆	〒600-8321 京都市下京区楊梅通 西洞院東入ル八百屋町59	TEL 075-351-3772 FAX 075-361-8877
14	(有)横山金具工房	横山智明 (横山義雄)	〒601-8394 京都市南区吉祥院 中河原里北町14-3	TEL 075-325-4861 FAX 075-325-4862



社美協が選定保存技術団体として国から認定を受けてからは、事務局を(株)さわの道玄で担当させていただきました。

研修事業を通して様々な貴重な経験をさせて

ただくことができ、皆様からのご指導のもと事務局としてお手伝いできたことを、とても嬉しく思っています。ありがとうございます。

来年度からは(株)小西美

術工芸社の須田知子さんが事務局として就くことになりました。私同様、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

社寺建造物美術協議会

事務局 四元晴美